

## 2. 計画の構成と期間

### (1) 基本構想

基本構想は、本市の現状とまちづくりの課題を踏まえ、目指すべきまちの将来像や将来目標、これを実現するための施策の基本的な方向を示したものです。

期間は、平成 30（2018）年度を初年度とし令和 7（2025）年度までの 8 年間としています。

### (2) 基本計画

基本計画は、基本構想をもとにその目標を達成するため、施策を体系別に整理したもので、前期基本計画の体系を踏まえながら改訂を行います。

なお、後期基本計画の期間は、令和 4（2022）年度から令和 7（2025）年度までの 4 年間とします。

### (3) 重点プロジェクト

本市が直面している課題の解決を図るために、事業費、人的資源の重点的な投入や組織横断的な連携体制による取組を重点プロジェクトとして位置づけ、優先的に取り組んでいます。

### (4) 戦略プロジェクト

後期基本計画においては、重点プロジェクトをより具体的・継続的に行うため戦略プロジェクトを策定し、強力に推進します。

### (5) 実施計画

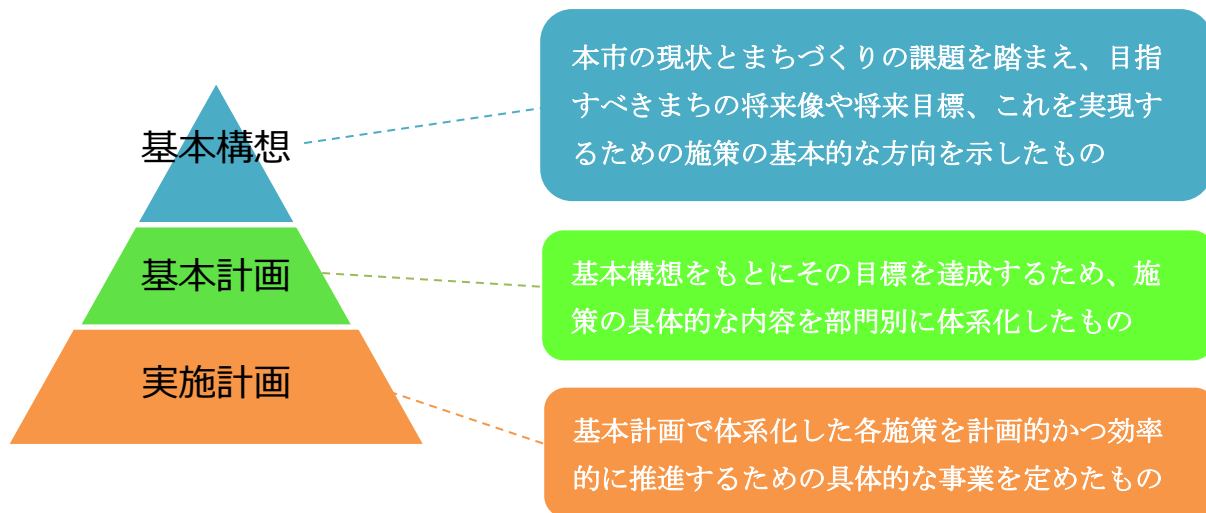
実施計画は、基本計画で定められた施策を計画的かつ効率的に推進するための具体的な事業を定めるもので、その期間は 4 年間とします。

ただし、社会情勢の変化や国の制度改正、事業の進捗状況などに弾力的に対応するため、ローリング方式<sup>1</sup>により、毎年度見直します。

---

<sup>1</sup> ローリング方式…現実と計画のズレを埋めるために、施策・事業の見直しや部分的な修正を毎年、定期的に行っていく手法

図表1 総合計画の構成と計画期間



年度	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
基本構想	市の将来像・各分野のめざすまちのすがた（8年間）							
基本計画	前期基本計画（4年間）				後期基本計画（4年間）			
	重点プロジェクト（まち・ひと・しごと創生総合戦略）							
	※社会経済環境の変化にあわせて毎年度見直しを行います。							
実施計画	※4年間を計画期間とし、毎年度更新します。							

### 3. 西之表市を取り巻く時代の潮流と課題

#### (1) 人口減少と少子高齢化の進展

本市の人口は、市制施行当初の33,593人（昭和34年）をピークに現在まで減少傾向が続いており、直近の国勢調査では、14,708人（令和2年）と、ピーク時の半数以下まで減少しています。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和6（2025）年には13,559人、令和11（2030）年には12,486人程度まで減少することが推計されており、人口減少がますます本格化していくことが想定されています。

子どもを産み、育てる環境整備や魅力ある雇用先の確保、高齢者への支援のあり方等を検討する必要があります。